

創刊号

外国人介護人材研究会事務局
〒248-0002
神奈川県鎌倉市二階堂22-4内
Mail: gaikaiken@soureniyo.com
FAX: 0467-84-8064

月例発信 《外国人介護人材の明日を創る》

テーマ：外国人介護人材研究会の発足

今回は創刊号のため両共同代表からご挨拶として2部発信させていただきます。

共同代表

三上博至

1959年8月9日生まれ。

58歳。

日本の第一期シルバービジネス生き残り。

大学卒業後、福祉に関する研究所にてシルバー事業のベースを学ぶ。中小、大手企業のシルバー事業をコンサルし、その一つであったミサワホームの介護事業を担当、そのまま入社し介護施設の企画から販売まで担当。後、鎌倉市議会選挙に立候補し落選。三上ヒューマンネット、介援隊設立し、全国を行脚。介護事業操練所を設立、デイサービス運営スタート。現在、ユウキャン様から実務者研修スクーリングを委託され、介護福祉士予備軍を養成させて頂いている。他、技能実習に介護が関わったのを受け、入国後の42時間介護研修を受託中。

大学卒業後、福祉に関する研究所にてシルバー事業のベースを学ぶ。中小、大手企業のシルバー事業をコンサルし、その一つであったミサワホームの介護事業を担当、そのまま入社し介護施設の企画から販売まで担当。後、鎌倉市議会選挙に立候補し落選。三上ヒューマンネット、介援隊設立し、全国を行脚。介護事業操練所を設立、デイサービス運営スタート。現在、ユウキャン様から実務者研修スクーリングを委託され、介護福祉士予備軍を養成させて頂いている。他、技能実習に介護が関わったのを受け、入国後の42時間介護研修を受託中。

大学卒業後、福祉に関する研究所にてシルバー事業のベースを学ぶ。中小、大手企業のシルバー事業をコンサルし、その一つであったミサワホームの介護事業を担当、そのまま入社し介護施設の企画から販売まで担当。後、鎌倉市議会選挙に立候補し落選。三上ヒューマンネット、介援隊設立し、全国を行脚。介護事業操練所を設立、デイサービス運営スタート。現在、ユウキャン様から実務者研修スクーリングを委託され、介護福祉士予備軍を養成させて頂いている。他、技能実習に介護が関わったのを受け、入国後の42時間介護研修を受託中。

大学卒業後、福祉に関する研究所にてシルバー事業のベースを学ぶ。中小、大手企業のシルバー事業をコンサルし、その一つであったミサワホームの介護事業を担当、そのまま入社し介護施設の企画から販売まで担当。後、鎌倉市議会選挙に立候補し落選。三上ヒューマンネット、介援隊設立し、全国を行脚。介護事業操練所を設立、デイサービス運営スタート。現在、ユウキャン様から実務者研修スクーリングを委託され、介護福祉士予備軍を養成させて頂いている。他、技能実習に介護が関わったのを受け、入国後の42時間介護研修を受託中。

大学卒業後、福祉に関する研究所にてシルバー事業のベースを学ぶ。中小、大手企業のシルバー事業をコンサルし、その一つであったミサワホームの介護事業を担当、そのまま入社し介護施設の企画から販売まで担当。後、鎌倉市議会選挙に立候補し落選。三上ヒューマンネット、介援隊設立し、全国を行脚。介護事業操練所を設立、デイサービス運営スタート。現在、ユウキャン様から実務者研修スクーリングを委託され、介護福祉士予備軍を養成させて頂いている。他、技能実習に介護が関わったのを受け、入国後の42時間介護研修を受託中。

大学卒業後、福祉に関する研究所にてシルバー事業のベースを学ぶ。中小、大手企業のシルバー事業をコンサルし、その一つであったミサワホームの介護事業を担当、そのまま入社し介護施設の企画から販売まで担当。後、鎌倉市議会選挙に立候補し落選。三上ヒューマンネット、介援隊設立し、全国を行脚。介護事業操練所を設立、デイサービス運営スタート。現在、ユウキャン様から実務者研修スクーリングを委託され、介護福祉士予備軍を養成させて頂いている。他、技能実習に介護が関わったのを受け、入国後の42時間介護研修を受託中。

大学卒業後、福祉に関する研究所にてシルバー事業のベースを学ぶ。中小、大手企業のシルバー事業をコンサルし、その一つであったミサワホームの介護事業を担当、そのまま入社し介護施設の企画から販売まで担当。後、鎌倉市議会選挙に立候補し落選。三上ヒューマンネット、介援隊設立し、全国を行脚。介護事業操練所を設立、デイサービス運営スタート。現在、ユウキャン様から実務者研修スクーリングを委託され、介護福祉士予備軍を養成させて頂いている。他、技能実習に介護が関わったのを受け、入国後の42時間介護研修を受託中。

大学卒業後、福祉に関する研究所にてシルバー事業のベースを学ぶ。中小、大手企業のシルバー事業をコンサルし、その一つであったミサワホームの介護事業を担当、そのまま入社し介護施設の企画から販売まで担当。後、鎌倉市議会選挙に立候補し落選。三上ヒューマンネット、介援隊設立し、全国を行脚。介護事業操練所を設立、デイサービス運営スタート。現在、ユウキャン様から実務者研修スクーリングを委託され、介護福祉士予備軍を養成させて頂いている。他、技能実習に介護が関わったのを受け、入国後の42時間介護研修を受託中。

大学卒業後、福祉に関する研究所にてシルバー事業のベースを学ぶ。中小、大手企業のシルバー事業をコンサルし、その一つであったミサワホームの介護事業を担当、そのまま入社し介護施設の企画から販売まで担当。後、鎌倉市議会選挙に立候補し落選。三上ヒューマンネット、介援隊設立し、全国を行脚。介護事業操練所を設立、デイサービス運営スタート。現在、ユウキャン様から実務者研修スクーリングを委託され、介護福祉士予備軍を養成させて頂いている。他、技能実習に介護が関わったのを受け、入国後の42時間介護研修を受託中。

大学卒業後、福祉に関する研究所にてシルバー事業のベースを学ぶ。中小、大手企業のシルバー事業をコンサルし、その一つであったミサワホームの介護事業を担当、そのまま入社し介護施設の企画から販売まで担当。後、鎌倉市議会選挙に立候補し落選。三上ヒューマンネット、介援隊設立し、全国を行脚。介護事業操練所を設立、デイサービス運営スタート。現在、ユウキャン様から実務者研修スクーリングを委託され、介護福祉士予備軍を養成させて頂いている。他、技能実習に介護が関わったのを受け、入国後の42時間介護研修を受託中。

大学卒業後、福祉に関する研究所にてシルバー事業のベースを学ぶ。中小、大手企業のシルバー事業をコンサルし、その一つであったミサワホームの介護事業を担当、そのまま入社し介護施設の企画から販売まで担当。後、鎌倉市議会選挙に立候補し落選。三上ヒューマンネット、介援隊設立し、全国を行脚。介護事業操練所を設立、デイサービス運営スタート。現在、ユウキャン様から実務者研修スクーリングを委託され、介護福祉士予備軍を養成させて頂いている。他、技能実習に介護が関わったのを受け、入国後の42時間介護研修を受託中。

一般社団法人
介護事業操練所

〒248-0003

鎌倉市二階堂22-4

TEL: 050-5812-0501

FAX: 0467-84-8064

Mail:

info@soureniyo.com

HP:

<http://www.kaigo-s.com/>

私は、介護業界に身を置き、早いもので約32年になります。当時、介護の主流は社会福祉法人中心でありましたが、そこに民間シルバービジネスを導入してきた一人として、責任重大だった事を記憶しています。何せ、前例がない訳ですから。そして、介護保険の登場で競争原理が生まれ、福祉業界全体に戸惑いと混乱があった状況が思い出されます。介護に競争原理ですから、当時はかなり刺激的でした。

介護の問題は、今も30年前も変わりません。「人材不足」と「財源」です。介護は、究極のヒューマンビジネスであり、「愛とソロバンのバランス感覚」が問われてきます。実際はどうでしょうか？利益を上げる為にはサービスの質を落とさなければいけません。劣悪なサービスを提供する事業所が利益をあげているという不条理な業界となっています。

良質な人材を確保するには、それなりの費用もかかりますし、組織も健全にする必要があります。介護報酬UPを期待しますが、ほとんど見込みは薄いでしょう。介護ビジネスは、公金事業なのです。

平成29年11月1日に、技能実習に介護が加わり法律が施行されました。ようやくです。10年前から介護業界には、外国人労働者が必要だと言いつけて参りました。言葉等含め、多くの高いハードルがありますが、それでも一歩前進だと思います。前例がない事ですから、やる意義はあります。国策ですから、やらなければなりません。

介護は、対象サービス相手が「もの」でなく、「人」です。しかも弱者ですから、多様な言葉やコミュニケーション技術、介護技術が必要となってきます。言葉も専門的になり、簡単ではありません。日本の文化や習慣も重要になってくるでしょう。

送り出し機関と監理団体と受入施設が一体となり、同じ価値観を共有しないと、この制度は日本に根付かないと痛感しています。危機感を持っています。

介護事業操練所の役割は、この辺にあるのではないかと、焦燥感に駆り立てられ、今回の発足に至りました。

是非、一緒に汗を流しませんか。

共同代表

熊田篤嗣

1971年3月3日生まれ。

46歳。

国際交流を通じ人材育成及び経済発展に寄与することを目的とした一般社団法人WA Internationalの代表理事。

京都大学法学部を卒業後、三菱電機、国会議員秘書を経て、衆議院議員に。エネルギー政策をライフワークに経済産業委員会などに所属。日本のエネルギー問題は、外交・安全保障と直結するとの考えで、衆議院を離れたのちは、国際交流の一般社団法人を主宰する。国際交流事業を進める中で、少子高齢化に直面する日本国内の多くの企業・団体から外国人人材の相談を受け、国会議員のところに培った経験と人脈をもとに、外国人人材活用の課題に取り組むこととなる。

一般社団法人
WA International

〒543-0045
大阪市天王寺区寺田町2-2-9
TEL: 06-6773-8150
FAX: 06-6773-8149

Mail :
kumada.atsushi@gmail.com

日本社会は出口の見えない少子高齢社会に突入しています。団塊の世代が高齢世代にさしかかり、その子どもたちである第2次ベビーブーム世代（私もその一人ですが、. . .）も子どもを産む年代から卒業しつつあります。1973年には209万人を超えた出生数も、最近では2年連続で100万人を下回っています。残念ながら日本社会の人口減少及び生産人口不足は、長期にわたらざるを得ない状況です。その上に、昨今は所謂きつい職場を忌避する傾向があり、多くの職場で人材不足が深刻化しています。それは介護の現場でも顕著に感じられることではないでしょうか。

このような現実と直面している現在、外国人人材のマンパワーを借りなければ、日本は経済や社会そのものを維持していくことは困難です。

しかし一方で、日本社会には外国人の受入れに対する閉鎖性や抵抗感があるのも事実です。また、ヨーロッパでの移民や定住外国人と間に抱える社会問題も重要な示唆を与えてくれています。

そのような課題を認識したうえで、現行制度下で外国人人材を受入れるにはどうすべきか、今後の制度改正や運用の方向性はどんなになっていくのか、現場から政府へはどのような要望があるのか、といったことなどを発信しながら、皆様と一緒にこれからの外国人人材活用を考えていきたいと思っています。

旧来のEPAに基づくインドネシア・フィリピン・ベトナムからの介護福祉士候補の受け入れに加え、17年9月1日には「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が施行され、介護福祉士資格を有する外国人へ「介護」の在留資格が認められました。さらには同年11月1日に「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」が施行され、技能実習の対象職種にも「介護」が加わりました。

しかし、外国人介護人材に門戸は開かれましたが、課題山積です。

まず、EPA介護人材、介護福祉士介護人材、技能実習生介護人材の棲み分けをどうするかです。それぞれの制度には一長一短ありますが、正直なところ介護施設の方々にはその区別からということも多いのではないのでしょうか。学校、協同組合、介護施設それぞれの立場から気になる点もあると思います。「介護福祉士の養成の費用負担はどのようになっているのか?」「技能実習生の日本語能力の条件は緩和されるのか?」「はたして現場でどの程度戦力になるのか?」などです。

また、送り出し国側にも課題があります。今回の日本の法改正が当初予定よりも数年遅れたことで、日本政府の対応に対する不信感が根底にあるように思われますが、現時点ではフィリピン・ベトナム・ミャンマーなどでは介護技能実習生を法的に認めてはいません。遠からず解禁されるとは聞いていますが、出だしから躓いた感は否めません。

外国人人材の活用は、日本および送り出し国の法律およびその運用と密接にかかわるものです。現場の課題と制度をつなぐ架け橋となる研究会にしていければと考えています。